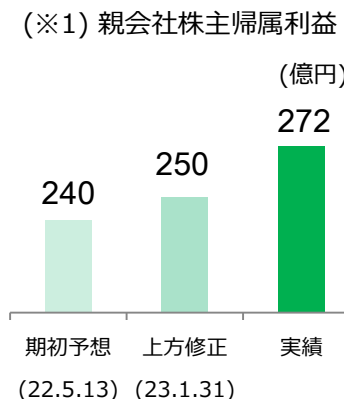


# I .業績概要

## 2022年度決算のポイント

主要計数計画・実績	2023年3月末実績	第7次中計最終年度 2023年3月末目標	目標比
親会社株主帰属利益 (連結当期純利益)	272億円 (※1)	200億円	+72億円
ROE (株主資本ベース)	5.63%	4%以上	+1.63%
OHR	60.75%	60%台	目標クリア
自己資本比率 (単体)	12.97% (※2)	(計画期間中) 10%以上	+2.97%

全項目  
達成



(※2) 規制改正早期適用  
(旧基準(概算)と比べ1%程度上昇)

### 収 益

		(前年度比)
・親会社株主に帰属する当期純利益 (連結)	272億円	(+65億円)
・当期純利益 (単体)	256億円	(+69億円)

### 預貸金

期末残高		(前年度比)
・預金+NCD未残	9兆1,046億円	(+1,168億円)
・貸出金	6兆3,059億円	(+1,569億円)
うち中小企業等貸出金未残	4兆1,848億円	(+1,135億円)

## 2. 2022年度決算概要

【単体】

(単位：億円)

	21年度	22年度	前年度比
業務粗利益	904	883	△ 21
資金利益	789	785	△ 4
役務取引等利益	108	117	9
その他業務利益	6	△ 19	△ 25
うち国債等債券損益	△ 0	△ 48	△ 48
経費	535	536	1
実質業務純益	369	346	△ 23
コア業務純益	370	394	24
除く投資信託解約損益	362	387	25
一般貸倒引当金繰入額 (A)	80	0	△ 80
業務純益	289	346	57
臨時損益	△ 28	9	37
不良債権処理額 (B)	29	22	△ 7
その他	1	31	30
うち株式等関係損益	8	27	19
経常利益	260	355	95
特別損益	△ 7	△ 4	3
当期純利益	187	256	69
信用コスト (A) + (B)	109	23	△ 86
【連結】			
連結粗利益	956	935	△ 21
連結経常利益	291	381	90
親会社株主に帰属する当期純利益	206	272	65

### 増益要因

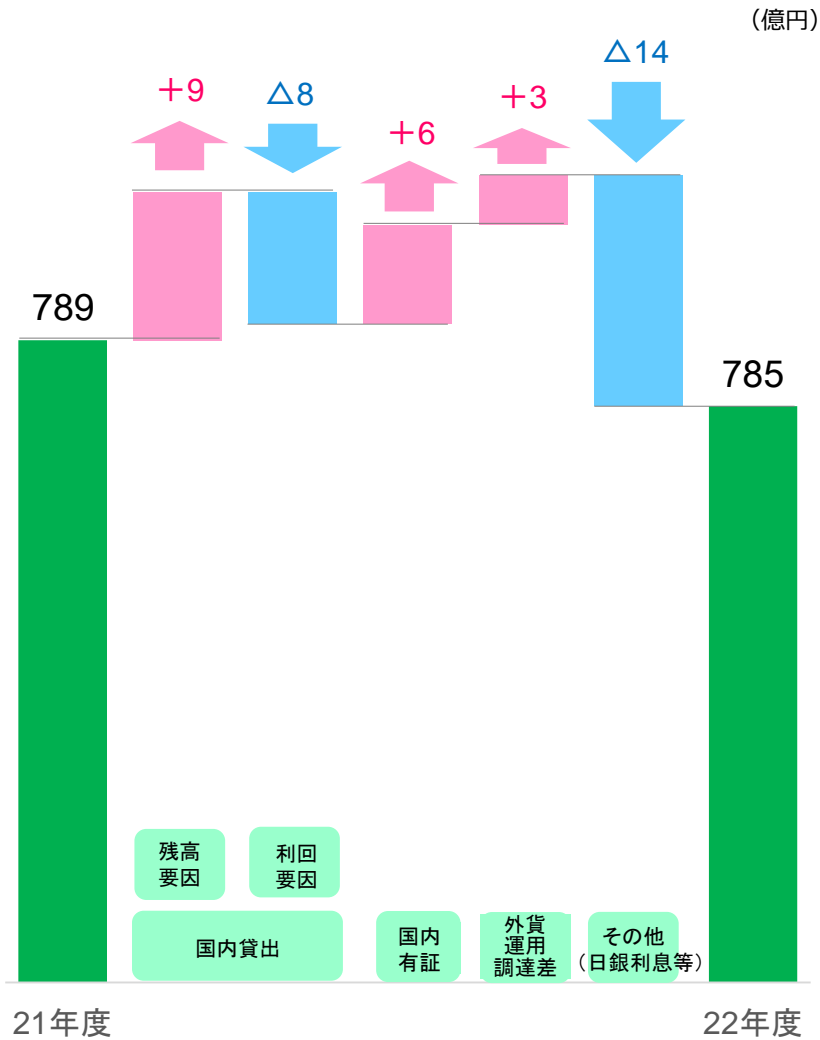
- ・コア業務純益の増加  
(+ 24 億円)
- ・株式等関係損益の増加  
(+ 19 億円)
- ・信用コストの減少  
(△ 86 億円)

### 減益要因

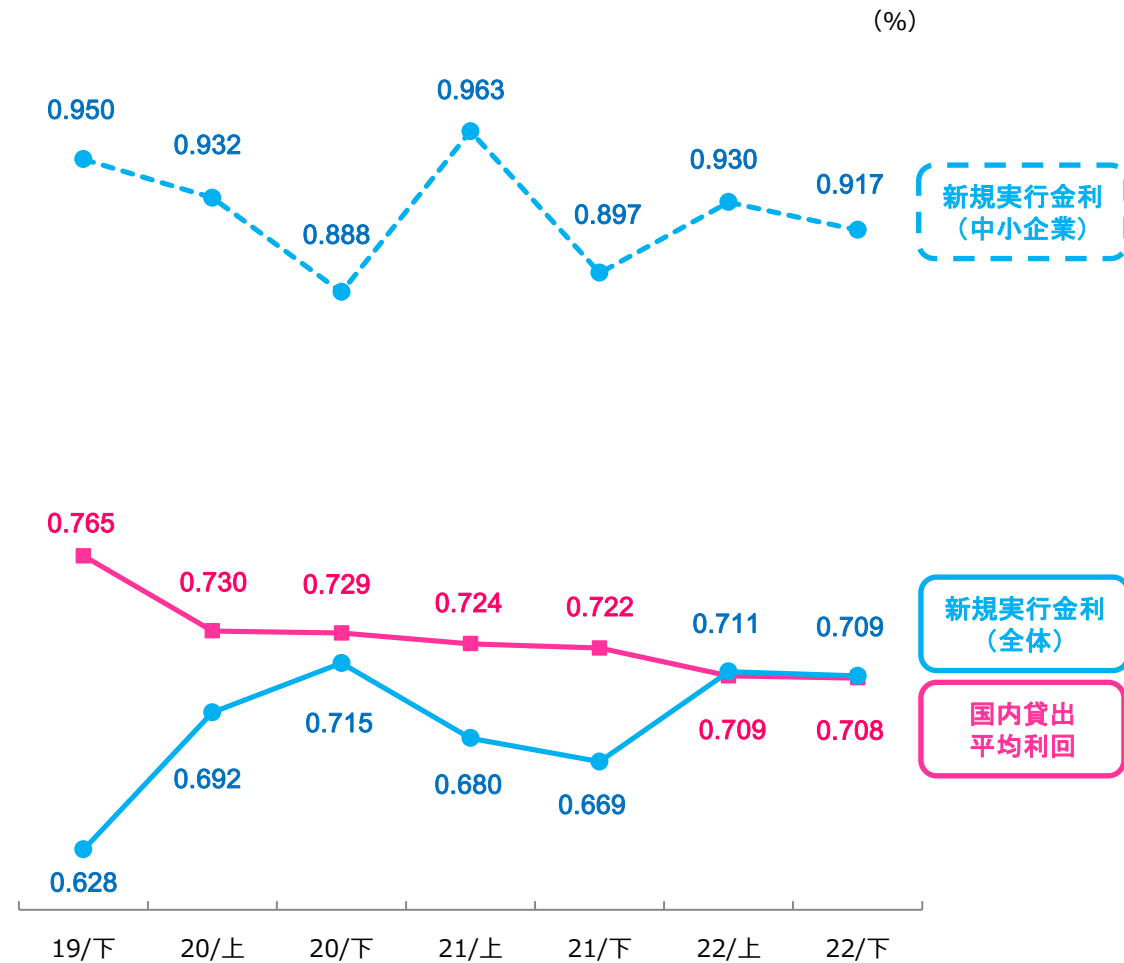
- ・国債等債券損益の減少  
(△ 48 億円)

### 3. 貸出資金利益・利回

#### 資金利益の増減要因（単体）

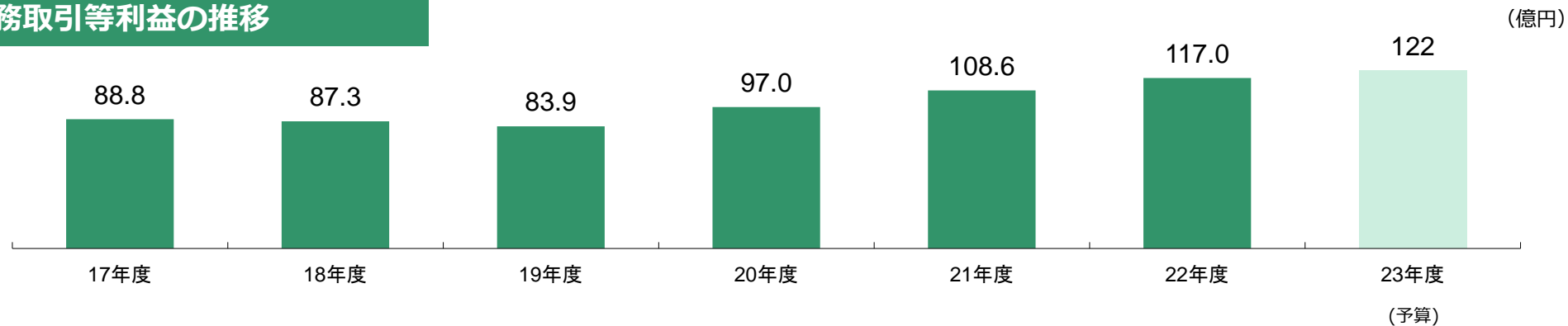


#### 国内貸出金利の推移（単体）



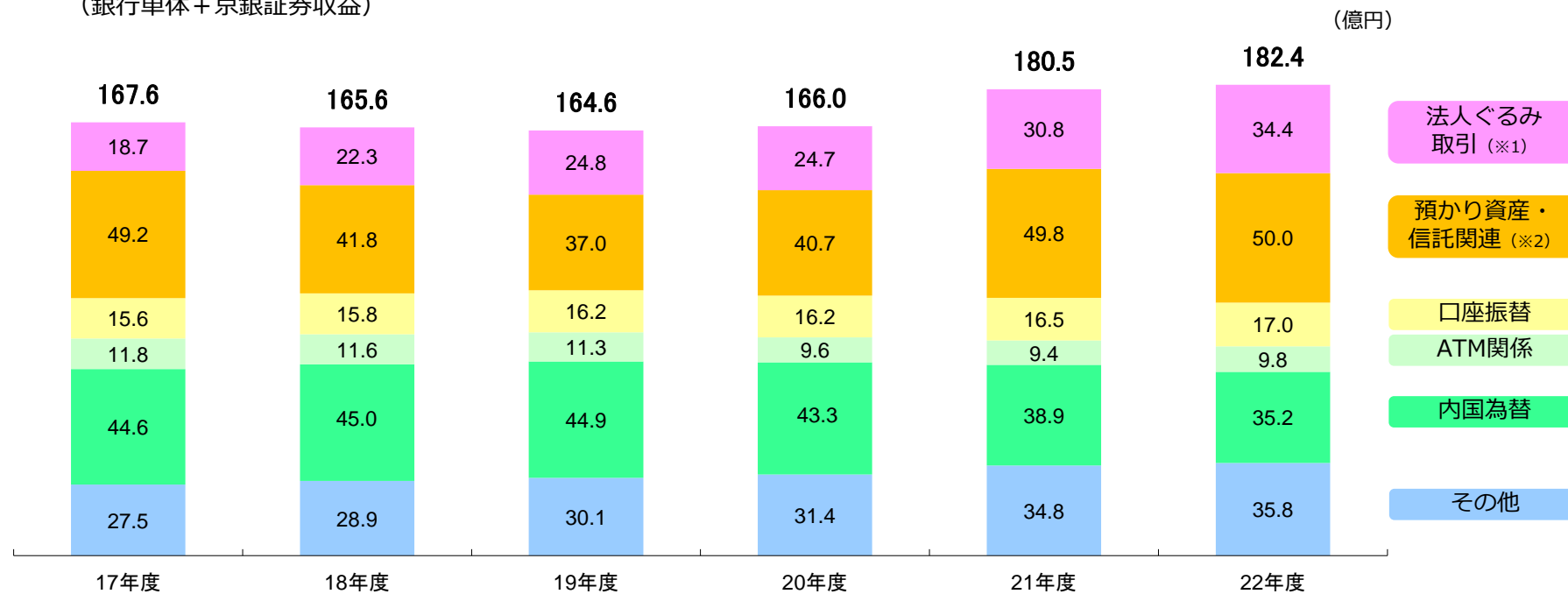
# 4. 役務取引等利益

## 役務取引等利益の推移



## 役務取引等収益の内訳

(銀行単体 + 京銀証券収益)



(※1) 法人ぐるみ取引：M & A、シローン、ビジネスマッチング、私募債、外為関連等

(※2) 預かり資産・信託関連：投資信託、保険、個人向け国債、金融商品仲介、ファンドラップ、信託関連 + 京銀証券収益

# 5. 信用コスト・開示債権の状況

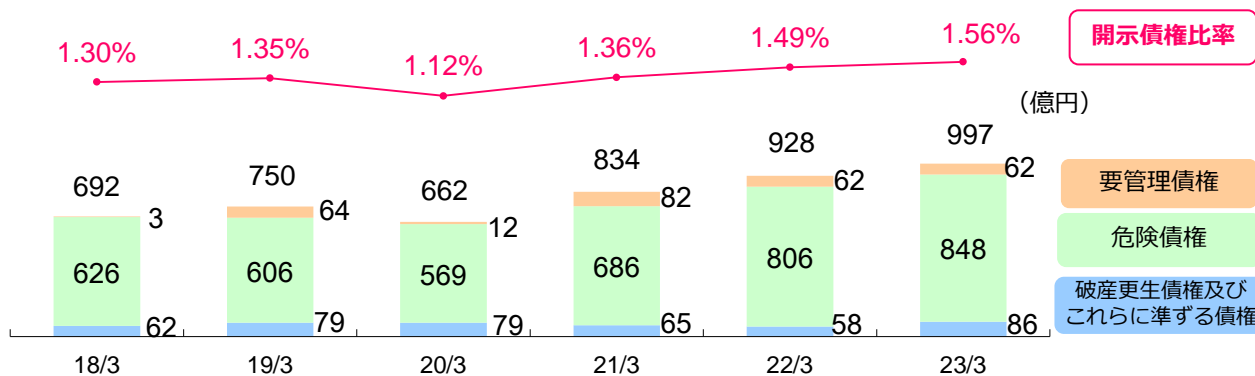
(単位: 億円)

信用コストの内訳 (単体)	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度 (予算)
個別貸倒引当金純繰入額	0	20	14	63	29	21	35
新規不良債権の発生に伴う処理額	10	30	28	74	41	32	
回収等による取崩し	△ 8	△ 8	△ 13	△ 9	△ 23	△ 10	
ランクアップによる取崩し	△ 3	△ 2	△ 0	△ 2	△ 0	△ 0	
不動産担保価値下落に伴う処理額等	1	0	△ 0	0	12	0	
貸出金償却	1	—	0	—	0	0	0
貸出債権売却損	0	1	0	1	1	0	0
その他	0	2	4	2	△ 0	0	3
不良債権処理額 ①	1	24	19	66	29	22	38
一般貸倒引当金純繰入額 ②	△ 5	△ 1	△ 2	21	(※) 80	0	△ 8
信用コスト ①+②	△ 3	23	17	87	109	23	30

## 金融再生法開示債権 (単体)

(※) 新型コロナウイルス感染症などの先行きの不確実性の高まりに備えた引当を実施

<残高及び比率の推移>



# 6. 2023年度決算見通し

【単体】

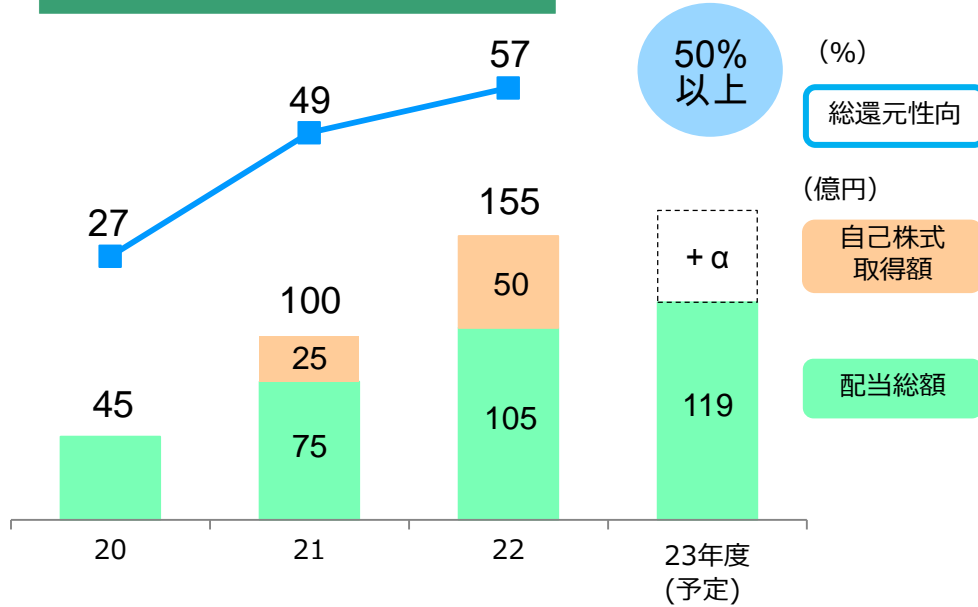
	22年度	23年度 (予算)	前年度比	
			22年度	23年度
業務粗利益	883	904	21	
資金利益	785	761	△ 24	
役務取引等利益	117	122	5	—— 4期連続の最高益更新
その他業務利益	△ 19	21	40	
うち国債等債券損益	△ 48	7	55	—— 反転
経費	536	547	11	
実質業務純益	346	357	11	
コア業務純益	394	350	△ 44	
除く投資信託解約損益	387	349	△ 38	
一般貸倒引当金繰入額 (A)	0	△ 8	△ 8	
業務純益	346	365	19	
臨時損益	9	4	△ 5	
不良債権処理額 (B)	22	38	16	
その他	31	42	11	
うち株式等関係損益	27	47	20	—— 政投株縮減に伴う売却益
経常利益	355	369	14	
特別損益	△ 4	△ 5	△ 1	
当期純利益	256	265	9	
信用コスト (A) + (B)	23	30	7	

【連結】

親会社株主に帰属する当期純利益	272	280	8	—— 3期連続の増益
-----------------	-----	-----	---	------------

# 7. 株主還元・自己資本

## 株主還元の推移

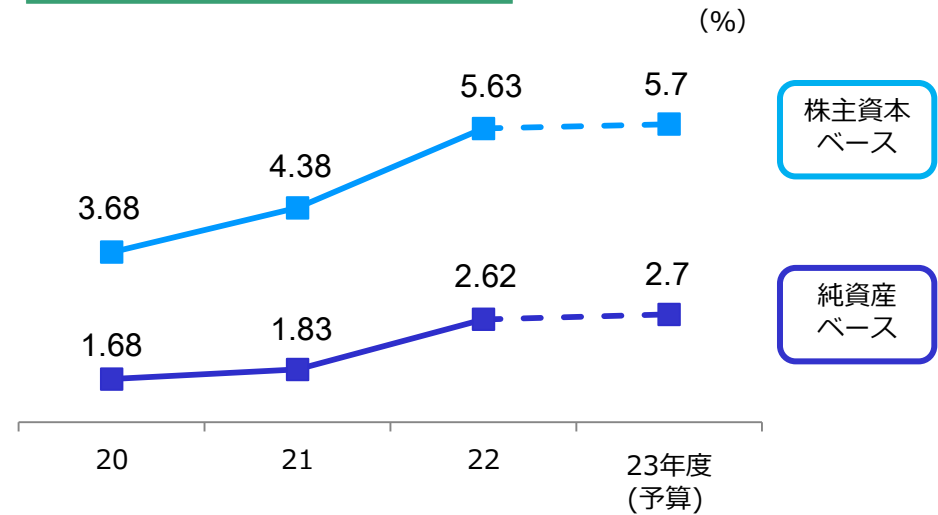


$$\text{総還元性向} = \frac{\text{配当総額} + \text{自己株式取得額}}{\text{親会社株主に帰属する当期純利益}} \times 100 (\%)$$

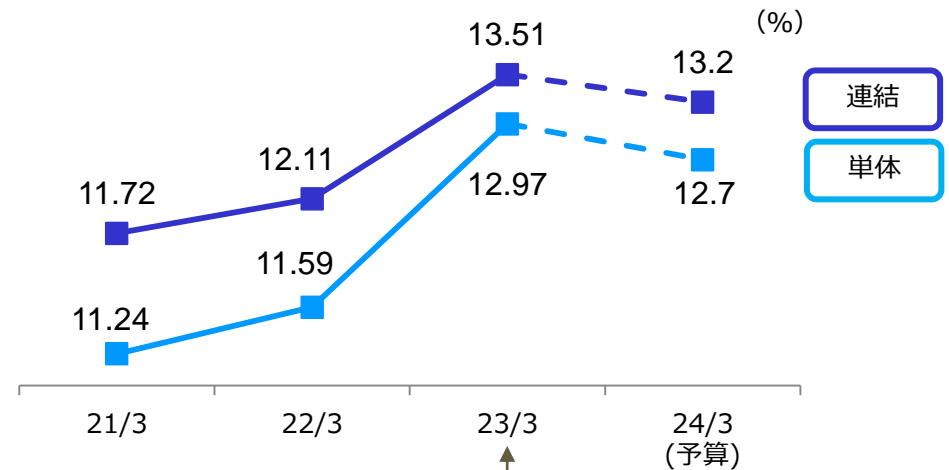
### 〈一株当たり配当金の推移〉

年度	20年度	21年度	22年度	23年度 (予定)
金額 (円)	60	100	140	160

## 連結ROEの推移



## 自己資本比率の推移



23/3より規制改正を早期適用済。  
その影響により旧基準(概算)に比べ、  
単体、連結とも1%程度上昇。